

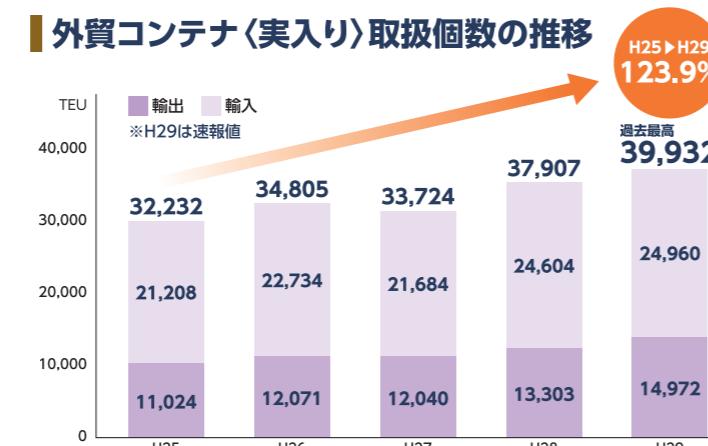
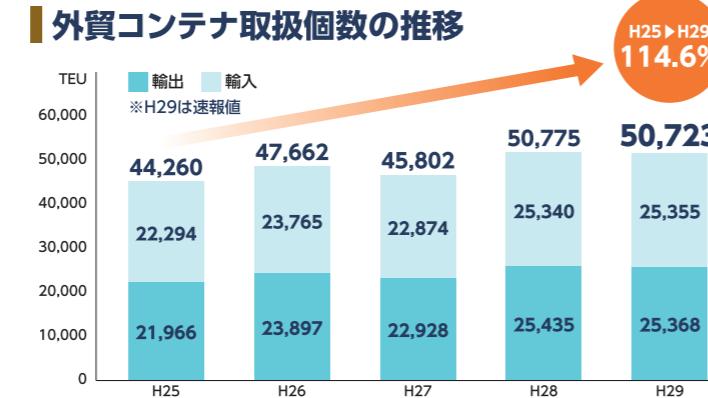
外貿コンテナ取扱個数 2年連続で5万TEU超

外貿コンテナ取扱個数	
輸出	25,368TEU (対前年比 99.7%)
輸入	25,355TEU (対前年比100.1%)
合計	50,723TEU (対前年比 99.9%)

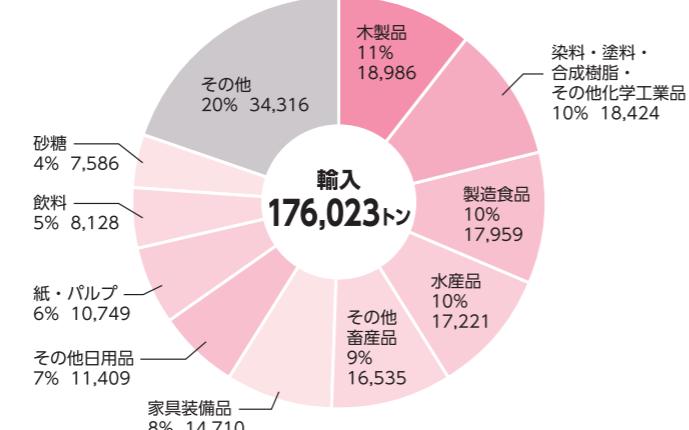
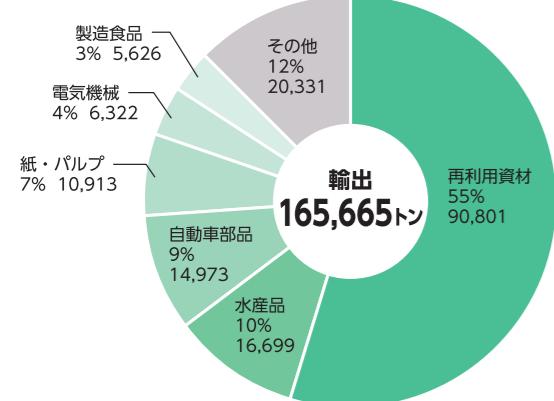
外貿コンテナ貨物量	
輸出	165,665トン (対前年比114.3%)
輸入	176,023トン (対前年比 99.3%)
合計	341,688トン (対前年比106.0%)

平成29年の外貿コンテナ取扱個数は、5万723TEU(対前年比99.9%)となり、2年連続で5万TEU超を記録し、特に、実入りコンテナの取扱個数は、3万9,932TEUとなり、過去最高となりました。

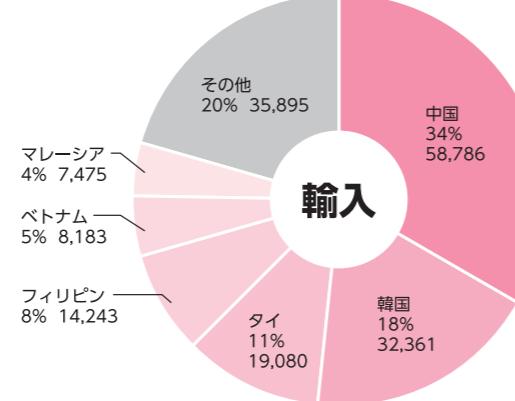
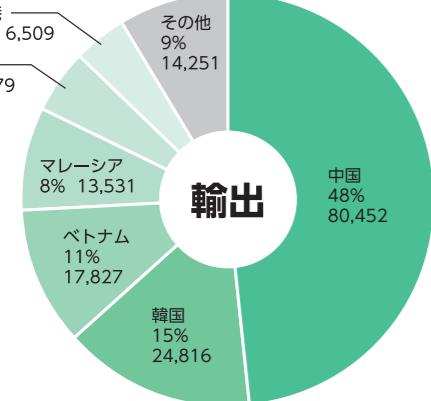
実入りコンテナは、輸出入共に伸びており、輸出は、古紙などの再利用資材が堅調に推移したほか、水産品や野菜・果物などが増加し、輸入では水産品や畜産品、製造食品、飲料などが増加しています。



平成29年外貿コンテナ貨物 品目構成 速報値



平成29年外貿コンテナ貨物 国別構成 速報値(単位:トン)



MARINE PRESS

ISHIKARI BAY NEW PORT NORTHERN PORT DAZZLING THE WORLD FROM ISHIKARI



2018 2
Vol.46

石狩湾新港管理組合
石狩湾新港外貿貨物利用促進協議会
北海道石狩市新港南2丁目725-1
Tel 0133-64-6661 Fax 0133-64-6666
<http://www.ishikari-bay-newport.jp>

取扱貨物量 過去最高を更新

取扱貨物量 613万455トン 5年連続過去最高

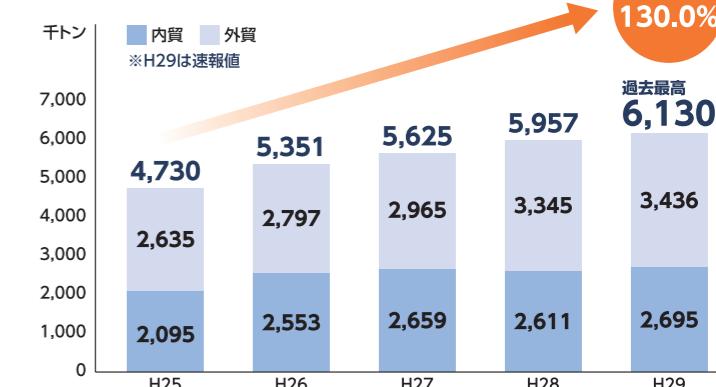


▲増加した木材チップ(対前年比103.6%)

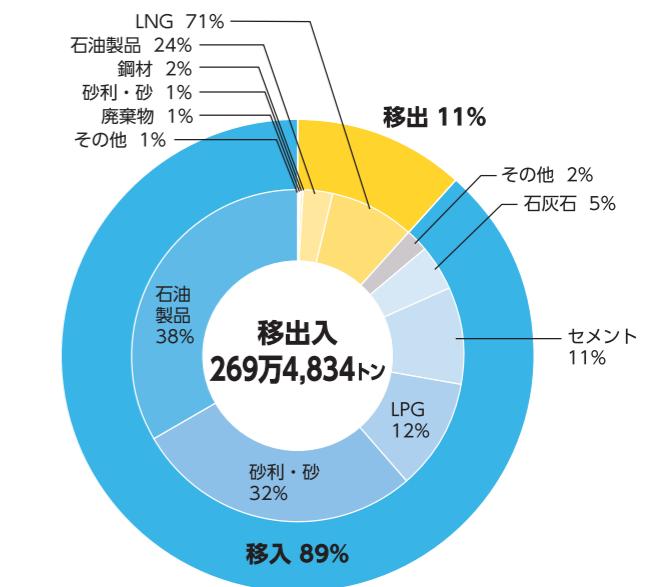
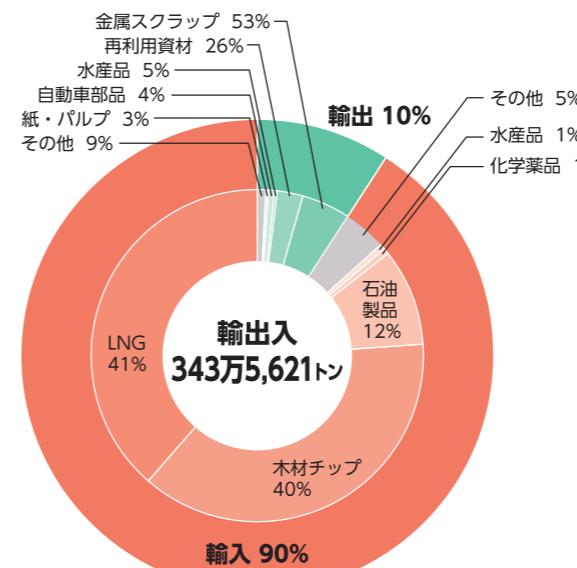


▲風車などの大型・重量物の取扱いが増加

平成29年の取扱貨物量	
輸出	34万9,055トン (対前年比109.2%)
輸入	308万6,566トン (対前年比102.0%)
移出	30万8,762トン (対前年比144.8%)
移入	238万6,072トン (対前年比 99.5%)
合計	613万455トン (対前年比102.9%)



平成29年取扱貨物 品目構成 速報値



特集



Interview

「北海道ブランド」をロシア・アジアのマーケットへ

北海道総合商事株式会社

営業部長 伊藤 彰浩 氏



— 北海道のための総合商社

当社は、北海道の地域商社として、北海道企業が世界に行くことを目的に、2015年10月に設立した会社です。地域商社というと地元自治体などの行政が関与するケースが多いですが、当社の株主は、北海道銀行グループやDCMホームズ、北海道コカ・コーラボトリングなどの民間企業で、地域企業の協力のもと設立するに至りました。

北海道の企業においては、北海道と気候風土が似ているロシアや北海道ブランドが浸透している中国・ASEAN地域で大きなビジネスチャンスがあると感じています。しかしながら、売上代金回収や為替変動、現地情報の不足など、地域企業が単独で海外に進出し、成功を収めるためには多くのハードルが存在します。また、最適な国際物流を考えなければ価格競争力が失われるという問題があります。こうした背景から、小回りのきく地域発祥の総合商社を設立し、ワンストップで地域企業の海外展開を支援する仕組みを作りました。



▲石狩湾新港でのバンニング

— 北海道産食品をロシアへ

2016年2月、米やタマネギ、リンゴなどの道産品を極東ロシアへ初めて輸出したことを皮切りに、継続した海外市場への輸出支援を展開しています。

また、ロシア市場に関心を持つ日本企業が効率的に市場開拓で

海外での日本食への関心の高まりなどを背景に、北海道産食品のさらなる輸出拡大が見込まれる中、石狩湾新港は、北海道経済の中心地である札幌圏に位置し、港の背後には北海道最大級の冷凍冷蔵倉庫群が形成されるなど、道産食品の輸出拠点としての役割が期待されています。

今号では、石狩湾新港を活用した輸出事例をご紹介します。

リーファーコンテナのメンテナンスはお任せください。

株式会社プロシード

代表取締役 小林 利雄 氏



事業内容について

当社は、石狩を拠点に夜間、休日問わず、24時間365日の体制で、リーファーコンテナの事前検査(PTI)や保守、修理などを行っています。また、冷凍機のメンテナンスを生業にしていたため、配線やコンプレッサーはもちろん、製缶の技術も持っていることから、コンテナのゆがみや損傷にも対応しています。



▲リーファーコンテナの起動チェック

石狩湾新港では年間700件程度、リーファーコンテナのPTI・修理の実績があります。修理の主な原因は、電源が入らないなどの電源系のトラブルが大部分を占めますが、当社では問題の原因を解明し、その場で修理できるものはすぐに対処し、部品の取り寄せが必要で時間を要する場合には、お客様の希望をお伺いして対応します。私たちは、お客様と貨物を第一に考え、ワンストップで迅速・丁寧なサービスを提供しています。



▲コンテナのゆがみや損傷などにも対応

石狩湾新港について

石狩湾新港は札幌に近い優位性があり、コンテナ航路開設以降、貨物も増加しています。平成30年度にはリーファーコンテナ用の電源が増設されると聞いており、今後、更に発展していくと期待しています。当社としても関係機関と協力しながら、お客様が安心してリーファーコンテナを石狩湾新港にお送りいただけるよう全面的にサポートしていきたいと考えています。

Topics

石狩湾新港ホームページを大幅にリニューアル

中国語・韓国語・ロシア語サイトを新たに作成

平成29年10月、石狩湾新港ホームページをリニューアルし、現在の日本語・英語サイトに加え、中国語・韓国語・ロシア語サイトを新たに作成いたしました。

石狩湾新港は、昨年(平成29年)の取扱貨物量が5年連続で過去最高を更新するなど、北海道日本海側の物流拠点としての役割が一層高まってきており、海外からの問い合わせも増えてきたことから、ホームページの多言語化を行いました。

これからも本港を利用する皆様の利便性向上とサービス強化のため、ホームページの機能・情報の充実化を図り、より有益な情報の発信に努めていきます。

石狩湾新港ホームページ <http://www.ishikari-bay-newport.jp>